

# 事業概況

## 業績の概要

### 情報機器事業



**オフィス分野：** MFPでは、「bizhub (ビズハブ)」シリーズのカラー機及びモノクロ機の販売が、国内外の主要市場において好調に推移し、販売台数は前年同期を大きく上回りました。また新興国市場専用機も、中国市場を中心にシェア拡大に寄与しました。

**プロダクションプリント分野：** これまで販売してきた「bizhub PRO (ビズハブ プロ)」シリーズに加え、デジタル商業印刷での本格展開を目指し、新ブランド「bizhub PRESS (ビズハブ プレス)」を立ち上げました。そして、新たにその最上位機種となる「bizhub PRESS C8000」を発売しました。

### オプト事業



**ディスプレイ部材分野：** 夏以降、液晶パネルメーカー各社の生産調整の影響を受ける中、VA-TACフィルム(視野角拡大フィルム)の販売数量は前年同期を下回りましたが、当社が強みを持つ薄膜タイプ、超広幅のTACフィルムが牽引し、全体の販売数量は前年同期を上回りました。

**メモリー分野：** 光ピックアップレンズは、販売数量は前年同期比で増加しましたが、パソコン向けやゲーム機向けなど顧客先での生産調整の影響を受け、期待ほどの伸びとはなりません。ガラス製ハードディスク基板は高記録密度製品が堅調に推移し、販売数量も前年同期比で、大幅に伸長しました。




**画像入出力コンポーネント分野：** 最終市場での市況に減速感が見られ、総じて低調に推移しました。

### メディカル&グラフィック事業



**ヘルスケア分野：** デジタルX線画像診断領域では、デジタル入力機器・システムやサービスソリューションビジネスの販売拡大に注力しました。デジタル入力機器の販売台数は、小規模医療施設向けの小型CR「REGIUS (レジウス) MODEL 110」が牽引し、国内外市場とも前年同期を上回りました。

**印刷分野：** 市況低迷の中で投資マインドの冷え込みが続き、市場環境が厳しい中、オンデマンドデジタル印刷機などの販売拡大に取り組み、販売台数は前年同期を上回りました。

売上高構成比	売上高(億円)	営業利益(億円)	主要製品	使われているコア技術
 <p>売上高構成比 67.9%</p>	<p>2,599 2,660</p> <p>2009年度 2010年度 第2四半期 第2四半期 累計 累計</p>	<p>78 195</p> <p>2009年度 2010年度 第2四半期 第2四半期 累計 累計</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オフィス用MFP</li> <li>● レーザープリンター</li> <li>● プロダクションプリンティング機</li> </ul>	<p><b>機器:</b> 画像処理、プロセス、搬送</p> <p><b>トナー・感光体:</b> 機能性有機材料合成、 機能性有機材料設計、機能性微粒子形成</p>
 <p>売上高構成比 17.6%</p>	<p>704 691</p> <p>2009年度 2010年度 第2四半期 第2四半期 累計 累計</p>	<p>61 79</p> <p>2009年度 2010年度 第2四半期 第2四半期 累計 累計</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TACフィルム(液晶偏光板用保護フィルム)</li> <li>● 光ディスク用ピックアップレンズ</li> <li>● HDD用ガラス基板</li> <li>● マイクロカメラモジュール</li> </ul>	<p><b>TACフィルム:</b> 機能性有機材料設計、機能性微粒子形成、 製膜コーティング</p> <p><b>光学コンポーネント:</b> 成型、表面加工、光学設計、精密駆動</p> <p><b>HDD用ガラス基板:</b> 表面加工</p>
 <p>売上高構成比 11.5%</p>	<p>529 449</p> <p>2009年度 2010年度 第2四半期 第2四半期 累計 累計</p>	<p>17 5</p> <p>2009年度 2010年度 第2四半期 第2四半期 累計 累計</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルX線画像読み取り装置</li> <li>● 乳房X線撮影装置</li> <li>● 画像診断ワークステーション</li> <li>● デジタル色校正システム</li> <li>● オンデマンド印刷システム</li> </ul>	<p><b>医療機器:</b> 機能性微粒子形成、 製膜コーティング(CRシンチレータ)、 画像処理</p>

※ 第2四半期累計期間: 4月～9月